

## (6) 久万高原ブロック (久万高原町)

### ～産地づくり～

生産者の高齢化が著しく進行するなか、夏季冷涼な気候を活かした夏秋野菜における新たな栽培者の確保・育成や生産技術の向上による産地振興を図ります。

また、単収の低い農家の要因分析とその課題解決に向けた対策の推進や技術指導強化等を図ることで、安定した生産量を確保するとともに、生産者の高齢化に対応できる省力化技術の導入や、労働力の確保対策を講じながら、産地の規模拡大を図ります。

### ～推進品目や産地づくりの方向～

#### ○若手栽培者を核としたトマト産地の復活

##### 【取組】

- ①久万高原町営農支援センターを拠点に、若手栽培者の確保や生産技術の向上を図り、産地復活を支援
- ②単収が上がらない生産者の要因を究明し、改善指導を実施
- ③生産性向上のため、作成した技術マニュアルを活用し、個別指導を実施
- ④農業公園研修生や新規就農者に対し、夏場の生産・品質安定対策を指導

##### 【成果】

- ①・農業公園研修生:新規3名確保  
・研修生を対象に栽培技術勉強会(10回)等を通じ、技術力が向上
- ②低単収の要因のひとつに、経験・知識不足からくる適期作業の遅れであることが確認できるとともに、指導を通じて単収が向上(9.4kg/10a)
- ③新規就農者の平均単収11.0t/10a(10.5t/10a)
- ④4人が細霧冷房システムを導入し、夏場対策に対応



研修生の圃場生育調査



研修生の勉強会

#### ○ピーマン栽培における省力化の推進と産地の規模拡大

##### 【取組】

- ①労力に見合った栽培の提案と基本技術の徹底
- ②自動かん水施設等の省力化技術の導入推進
- ③労働力確保対策(農福連携等)を推進

##### 【成果】

- ①部会の平均単収:7.08t(前年比118%)
- ②自動かん水施設の新規導入農家:2戸
- ③・求人紹介企業を活用した労働補完体制の整備  
・農福連携による収穫作業体験:1件



導入された自動灌水装置

### ～地域づくり～

就農希望者に対し、町の農業研修制度を活用して、トマト栽培や経営管理等の研修を実施します。若い新規就農者には、青年農業者組織での活動を通して地域内外での仲間づくりを支援するとともに、スムーズな地域への就農と定着に努めます。

また、規模拡大を目指す農家等に対し、スマート農業等省力栽培技術の導入を支援するとともに、人・農地プランの実質化等を通じて農地の集積を図り、地域の担い手として育成します。

中山間地域の夏季冷涼な気象条件を活かした夏秋期の出荷品目や土地利用型作物(加工用野菜、雑穀、さといも等)の拡大・活用等による農業所得の向上と地域の活性化を図ります。

営農に関する情報共有システムを構築し、映像によるリアルタイムな情報交換と現場の課題解決を図るため、高速情報通信網の活用を含めたスマート農業の導入を推進します。

～推進対象や地域づくりの方向～

## ○地域農業を支える新規就農者の確保・育成

### 【取組】

- ①就農候補者に対し、町の研修制度を利用し栽培技術や経営管理等の研修を通じて就農を後押し
- ②新規就農者に対し、関係機関が一体となり、講習会（14回）等を通じて就農定着を支援
- ③若い就農者に対し、青年農業者組織への加入を推進し、集団活動を通じた仲間づくりを支援するとともに、広報誌での紹介や栽培技術等の情報交換を図り、地域への定着を推進

### 【成果】

- ①新たに4人が農業研修を開始 ※前年：3人
- ②新規就農者：2人（トマト栽培開始：農業研修卒業生）  
※前年：3人
- ②新規就農者の栽培技術及び経営管理能力が向上
- ③新規就農者の組織加入数：2人 ※前年：3人
- ③町広報誌での新規就農者の紹介やイベントへの参画を通じ、青年農業者活動への理解や地域との交流を促進（100%）



農家から指導を受ける研修生



イノシシおりの作成

## ○担い手型水田農業の推進

### 【取組】

- ①「水稻」の経営規模拡大志向農家に対してドローン防除や水位センサー等の省力技術（スマート農業）の導入を支援
- ②人・農地プランの実質化を通じて、地域農業の担い手の明確化
- ③水田農業に取り組む担い手に対し、水稻の生育調査や病害虫一斉調査、栽培講習会の開催（6～8月）等を通じて高収益化を支援

### 【成果】

- ①省力技術（スマート農業）の新規導入支援実績：1件（水田用水位センサー）
- ②7集落が人・農地プラン実質化に取り組み「担い手班」を設置（各6～10人の担い手を確保）
- ③管内の1等米比率 98%（愛媛県38%）



水田用水位センサーの設置

## ○農家の6次産業化の推進

### 【取組】

- ①漬物野菜、雑穀の生産振興を支援するため、現地展示ほ場の設置：3カ所（山ごぼう、セルリー、雑穀3種:地とうきび、たかきび、こきび）やブランドづくり推進会議（3回）を開催
- ②雑穀の消費拡大のため、郷土料理講座の開催（4回）のほか、郷土料理の紹介や雑穀の栽培風景を動画で記録・配信
- ③雑穀を使った新たな商品開発を支援

### 【成果】

- ①雑穀の栽培面積：240a 生産者 13名
- ②郷土料理3品目（はな粉ねり汁、たかきび団子汁、こきび餅）について、県公式YouTubeによるPR動画の公開及び消費啓発
- ③たかきびを代替肉として利用した料理3品を開発
  - ・クーマカレー
  - ・久万高原ボール
  - ・久万風ボロネーゼ



雑穀の実証展示ほ



クーマカレー



～基盤整備による担い手への農地集積の加速化と果菜類の産地規模拡大～

○農業用水の安定確保と担い手への農地集積

【取組】

- ・高齢化や人口減少による担い手不足と荒廃農地の発生を食い止め、担い手への農地集積や新規就農者の定着と「トマト」や「ピーマン」等の夏秋期果菜類の産地規模拡大、出荷品目の増強を後押しするため、農業用水の安定確保と農作業の省力化や効率化につながる農業水利施設の更新、用水路のパイプライン化、暗渠排水の設置等を実施

【成果】

- ・水利施設等保全高度化事業等を活用し、農業水利施設の更新工事を実施  
工事実施：明神地区、槇の川地区 和田ノ窪地区 3地区
- ・農業競争力強化農地整備事業を活用し、用水路のパイプライン化及び暗渠排水工事のための測量設計を実施  
ナベラ地区、永子地区 2地区



明神地区の水路整備状況



槇の川地区の水路整備状況

～足腰の強い畜産業を振興します～

○足腰の強い畜産業を振興します

1 四国カルスト牧場の取組

【取組】

- ①放牧衛生指導指針に基づき、放牧牛の定期的な衛生検査（健康チェック）による疾病等のまん延防止対策を指導
- ②牧場の家畜収容力の維持、向上を図るため、有害雑草の駆除や草地の改良指導を実施

【成果】

- ①延べ161件の衛生検査を実施し、疾病等のまん延防止対策に関する農家の意識が向上
- ②入牧頭数：51頭（前年63頭）

2 媛っこ地鶏の取組

【取組】

- ①地域特産品のトマトを使った特色ある媛っこ地鶏肉の生産拡大を推進
- ②安全・安心な媛っこ地鶏肉生産に向け、必要な衛生指導を実施

【成果】

- ①年間生産羽数：216羽（前年800羽）
- ②2戸の農家を対象に、延べ4件の衛生指導を実施

3 家畜伝染病侵入防止の取組

【取組】

- ・農家への立ち入り調査を行い、飼養衛生管理基準の遵守状況の確認、必要な指導、家畜伝染病等疾病に関する情報提供を実施

【成果】

- ・家畜伝染病等疾病に関する農家の意識向上



四国カルスト牧場での衛生検査



媛っこ地鶏の生産指導